

# (誰でも簡単) 被災者生活再建カード配置パターン集

2022.11.6 問合せ 弁護士永野 海



罹災証明の判定ごとの使える  
支援制度のパターン集です  
被災者の方とお話しながら  
このとおり被災者生活再建カード  
を貼って、持ち帰ってもらう!

より詳しい情報がある  
被災者支援カードも  
一緒にみながらだと  
分かりやすいわ♪



半壊 世帯で  
解体する (修理する)



被災者生活再建カード  
の基本的な使い方

- 1) まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 2) 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 3) 説明文に当てはまる箇所すべてに各支援制度のカード(借入以外)を貼ります  
※ カードの配置例も参考に(配置例はカードを最も使える事例を想定しています)
- 4) 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 5) 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 6) 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

カードで 得られる金額	万円	万円	65.5万円	万円	万円	① 万円
最初の生活場所	ボランティア 専門家支援 片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談	火災(地震) 保険・共済 火災保険だけで は地震・津波の 被害に備えられ ない	応急修理 制度 仮設住宅 半壊以上 655,000円 軽半壊 318,000円	被災者生活再建支援法 の適用が必要(同等の 制度がある自治体も) ※対象:全壊世帯・大規 模半壊世帯・半壊以上 等でやむを得ず解体す る世帯・長期避難世帯	自治体の 独自支援 自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集	ライフスタイル カード1枚目
カードで 得られる金額	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	② 万円
次の生活場所	仮設住宅 家族の死亡や住家 被害の程度により 支給される	被災者生活再建支援法 の適用が必要(同等の 制度がある自治体も) ※対象:「基礎支援金」 の受給世帯又は中規模 半壊の世帯	災害援護 資金貸付 1か月以上の負債 家財損害、住家破 害による支出で税 金が減免される	雑損控除 (災害減免法) 建物・家財・車・基 地などの被害や災 害による支出で税 金が減免される	自由なアイデア カード	ライフスタイル カード2枚目
カードで 得られる金額	万円	万円	~1200万円	~1200万円	万円	③ 万円
最終的な住まい	公費解体 ※原則全壊家型が対象。 特定非常災害等なら半 壊以上の家型や一部事 業用も対象になること もあるため最新の情報 をチェック	被災者生活再建支援法 加算支援金 ※被災者生活再建支援法 の適用が必要(同等の 制度がある自治体も) ※対象:「基礎支援金」 の受給世帯又は中規模 半壊の世帯	災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修) 建設・購入資金は 半壊・補修一部 損壊以上が条件	リバース モーゲージ 60歳以上なら、不 動産を担保に、利 息の返済が可能	被災ローン 減免制度 住宅、事業、教育 などの借入ローンの 減額・免除	現在の貯蓄額 万円 ①~④の合計額を記入 最終合計 万円

原則どちらか

どちらか

令和4年8月12日版 被災者生活再建支援法  
被災者生活再建支援カード 2022 弁護士永野 海

被災された  
借主へ

被災者の規模等と自治体ごとに適用される支援制度は異なります。また、後から適用される場合も。詳細は、QRコードなどもご参照。被災者支援カード 2022 弁護士永野 海

災害直後 (保険の確定と社協の貸付も)	応急修理制度 (災害救助法) 大規模半壊・半壊の世帯 65.5万円 (2022) 軽半壊の世帯 31.8万円	窓口 自治体 誰に 借うと修理後は仮設 住宅に入れないとな るので修理した自宅 で生活できる世帯 貸費でない人 業者に修理を頼む 前に自治体に相談	基礎支援金 (被災者生活再建支援法) 1全壊 2半壊以上の建物 等を解体・売却し避難 世帯 100万円 大規模半壊 50万円	窓口 自治体 誰に 左の条件を満たす世帯 (貸主も)。特に② ③は不明なら要相談 (所得は4分の3の金額) 所得条件なし。お金 の使い道も制限なし	災害援護 資金貸付 (災害弔慰金法) 借入最大350万円 (全壊250万円/半壊1 70万円/家財5分の1 の損害150万円など)	窓口 自治体 誰に 災害で負傷したり、 家財の損害、住宅の 全半壊などがある人 (所得条件あり) 返済期間10年。当 初3年間は無利子
数か月後 (義援金・災害弔慰金も)	仮設住宅 (災害救助法) 原則2年納 (特定非常災害適用 なら延長可能性も) 家賃無料 (光熱費は負担必要)	窓口 自治体 誰に 居住できる家がなく自 分の力で住宅を確 保できない人 入居に所得条件あるも 適用は自治体で様々	公費解体 (環境省の制度) 建物を無償で解体 (家財と一体の浄化槽 は対象可能性も。建物 は地震の上のみ解体)	窓口 自治体 誰に 特例適用なら、半壊 以上の家財の所有者 (2階建て10㎡以下等 の事業用も対象) 所得条件なし。3階建 以上のアパートや、倉 庫などは要相談。	雑損控除 (災害減免法も) その年の所得の10% を超える部分の損害額 が所得控除される等	窓口 誰に 税務署に確定申告 住宅・家財・車両・お墓 などの損害や災害関連 費の支出がある人 家財の損害額不明 でも規定規定あり
その後 (その他の制度も)	加算支援金 (被災者生活再建支援法) 建設・購入で 200万円 修繕で 100万円 民間借入へ 50万円 ※中規模半壊以上の半壊	窓口 自治体 誰に 基礎支援金ももらった 世帯が、住宅再建・修 理・賃貸収入をする時 に、貸費返済をする時 (単身は4分の3の金額) 一度返済して、その後 再建・修繕した場合でも 左の金額でもらえる	被災ローン 減免制度 (自然災害ガイドライン) 借付金500万円・家財 保険金・各債権資金 などを手元に残し、ロー ンの減額・免除の可能性あり ※フラックリスに載らない	窓口 誰に 弁護士会に相談を 災害救助法の災害で 住宅ローンなど個人 のローンの支払が難 しくなった人 自己破産や返済交 渉の前に検討を!	災害復興 住宅融資 (リバースモーゲージ) 建設・購入/リ/バ/融 半壊以上 修理の融資 一部損壊でもOK	窓口 誰に 住宅の修繕費用や 再建費用を借りたい人 60歳以上なら不動 産を担保に、利息 の返済の「リバ ースモーゲージ」も

世帯で

解体する/修理する/借入人



### 被災者生活再建カードの基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります  
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入する。以下の場合はカードを貼る</p> <p>避難所 開設されていれば誰でも入れる</p>	<p>万円</p> <p>ボランティア *家の片付け・泥出し・ペット・移動支援など様々なお困りごとに</p> <p>専門家支援 *今後の生活再建を気軽になんでも相談</p>	<p>万円</p> <p>火災（地震） 保険・共済</p> <p>*今回の災害で使える保険に入っている人 *水害の場合、火災保険の水災特約の加入の有無に注意</p>	<p>万円</p> <p>応急修理制度</p> <p>*災害救助法の適用が必要 *対象：準半壊以上 *使うと修理後は「応急仮設住宅」に入らず、「公費解体」も使えなくなる</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体も） *対象：全壊世帯・大規模半壊世帯・半壊以上等でやむを得ず解体する世帯・長期避難世帯</p>	<p>万円</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>*土砂の撤去や、見舞金・支援金・補助制度など自治体のホームページの情報に注意</p>	<p>万円</p> <p>ライフスタイル カード1枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入する。以下の場合はカードを貼る</p> <p>応急仮設住宅 災害救助法の適用が必要。半壊以上も可能性</p>	<p>万円</p> <p>義援金</p> <p>*死傷や住宅の損壊の程度（罹災証明書の判定）などによって配分される *通常、世帯分離なら世帯ごとに申請可能</p>	<p>万円</p> <p>災害弔慰金</p> <p>*災害時や災害後にご家族が亡くなった（重大な後遺障害を負った）場合に申請・支給 *避難生活中の死亡なら災害関連死の相談を検討</p>	<p>万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>*災害救助法の適用が必要 *半壊以上、1か月以上の負傷、家財損害などで利用可 *所得による利用制限あり</p>	<p>万円</p> <p>雑損控除 （災害減免法）</p> <p>*所得税・住民税の納税者が対象 *保険でカバーできない住居・家財・車両・墓などの損失がある場合</p>	<p>万円</p> <p>自由なアイデア カード</p>	<p>万円</p> <p>ライフスタイル カード2枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>記入するか、住まいカード又は以下のカードを貼る</p> <p>災害公営住宅 自治体が設置するかどうかや入居要件に注意</p>	<p>万円</p> <p>公費解体</p> <p>*原則全壊家屋が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も対象になることもあるため最新の情報をチェック</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体も） *対象：「基礎支援金」の受給世帯又は中規模半壊の世帯</p>	<p>万円</p> <p>災害復興 住宅融資</p> <p>*親子リレーローンで二世帯での可能も可 *建設・購入（新築・中古）は半壊以上、補修は一部損壊も可</p>	<p>万円</p> <p>リバース モーゲージ （災害復興住宅融資 の高齢者返済特例）</p> <p>*60歳以上 *建設・購入（新築・中古）は半壊以上、補修は一部損壊も可 *不動産評価の6割まで借入可</p>	<p>万円</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>*災害救助法の適用が必要 *災害によって（被災時の）個人のローンの返済が困難になった場合 *利用が可能かは弁護士にご相談を</p>	<p>万円</p> <p>現在の貯蓄額 万円</p> <p>①～④の合計額を記入 最終合計 万円</p>

一部損壊世帯で  
解体する **修理する**



## 被災者生活再建カードの基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる**ところすべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります**  
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の**最終合計額**が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入する。以下の場合はカードを貼る</p> <p>避難所 開設されていれば誰でも入れる</p>	万円	万円	万円	万円	万円	① 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入する。以下の場合はカードを貼る</p> <p>応急仮設住宅 災害救助法の適用が必要。半壊以上も可能性</p>	万円	万円	万円	万円	万円	② 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい 自宅を修理</p>	万円	万円	~1200万円	~1200万円	万円	③ 万円
<p>④ 現在の貯蓄額 万円</p> <p>①~④の合計額を記入 最終合計 万円</p>						

**ボランティア  
専門家支援**

片付け・土砂撤去  
など様々な困り  
ごとの相談

**火災(地震)  
保険・共済**

火災保険だけでは地震・津波の  
被害保障なし

**応急修理制度**

- \* 災害救助法の適用が必要
- \* 対象：準半壊以上
- \* 使うと修理後は「応急仮設住宅」に入れず、「公費解体」も使えなくなる

**被災者生活再建支援金  
基礎支援金**

- \* 被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体も）
- \* 対象：全壊世帯・大規模半壊世帯・半壊以上等でやむを得ず解体する世帯・長期避難世帯

**自治体の  
独自支援**

自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集

**ライフスタイル  
カード1枚目**

**義援金**

家族の死亡や住家被害の程度により支給される

**災害弔慰金**

- \* 災害時や災害後にご家族が亡くなった（重大な後遺障害を負った）場合に申請・支給
- \* 避難生活中の死亡なら災害関連死の相談を検討

**災害援護  
資金貸付**

- \* 災害救助法の適用が必要
- \* 半壊以上、1か月以上の負傷、家財損害などで利用可
- \* 所得による利用制限あり

**雑損控除  
(災害減免法)**

建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される

**自由なアイデア  
カード**

**ライフスタイル  
カード2枚目**

**公費解体**

- \* 原則全壊家屋が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も対象になることもあるため最新の情報をチェック

**被災者生活再建支援金  
加算支援金**

- \* 被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体も）
- \* 対象：「基礎支援金」の受給世帯又は中規模半壊の世帯

**災害復興  
住宅融資  
(建設・購入・補修)**

建設・購入資金は半壊、補修は一部損壊以上が条件

**リバース  
モーゲージ**

60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能

**被災ローン  
減免制度**

住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除

**④  
現在の貯蓄額  
万円**

**①~④の合計額を記入  
最終合計  
万円**

# 一部損壊世帯の 賃借人の方



## 被災者生活再建カード の基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります  
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入する。以下の場合はカードを貼る</p> <p>避難所 開設されていれば誰でも入れる</p>	<p>万円</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>万円</p> <p>火災（地震） 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし</p>	<p>万円</p> <p>応急修理制度</p> <p>* 災害救助法の適用が必要 * 対象：準半壊以上 * 使うと修理後は「応急仮設住宅」に入らず、「公費解体」も使えなくなる</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>* 被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体も） * 対象：全壊世帯・大規模半壊世帯・半壊以上等でやむを得ず解体する世帯・長期避難世帯</p>	<p>万円</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>	<p>①</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード1枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入する。以下の場合はカードを貼る</p> <p>応急仮設住宅 災害救助法の適用が必要。半壊以上も可能性</p>	<p>万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>万円</p> <p>災害弔慰金</p> <p>* 災害時や災害後にご家族が亡くなった（重大な後遺障害を負った）場合に申請・支給 * 避難生活中の死亡なら災害関連死の相談を検討</p>	<p>万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>* 災害救助法の適用が必要 * 半壊以上、1か月以上の負傷、家財損害などで利用可 * 所得による利用制限あり</p>	<p>万円</p> <p>雑損控除 （災害減税法）</p> <p>建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>	<p>万円</p> <p>自由なアイデア カード</p>	<p>②</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード2枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>記入するか、住まいカード又は以下のカードを貼る</p> <p>災害公営住宅 自治体が設置するかどうかや入居要件に注意</p>	<p>万円</p> <p>公費解体</p> <p>* 原則全壊家屋が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も対象になることもあるため最新の情報をチェック</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>* 被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体も） * 対象：「基礎支援金」の受給世帯又は中規模半壊の世帯</p>	<p>万円</p> <p>災害復興 住宅融資</p> <p>* 親子リレーローンで二世帯での可能も可 * 建設・購入（新築・中古）は半壊以上、補修は一部損壊も可</p>	<p>万円</p> <p>リバース モーゲージ （災害復興住宅融資の高齢者返済特例）</p> <p>* 60歳以上 * 建設・購入（新築・中古）は半壊以上、補修は一部損壊も可 * 不動産評価の6割まで借入可</p>	<p>万円</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>	<p>③</p> <p>万円</p> <p>現在の貯蓄額 万円</p> <p>④</p> <p>①～④の合計額を記入 最終合計 万円</p>

**準半壊** 世帯で  
解体する **修理する**



**被災者生活再建カード  
の基本的な使い方**

- 1) まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 2) 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 3) 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります  
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 4) 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 5) 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 6) 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p><b>カードで 得られる金額</b></p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入するカードは 避難所 開設も入 数日から数ヶ月 の利用（無料）</p>	<p>万円</p> <p><b>ボランティア 専門家支援</b></p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>	<p>万円</p> <p><b>火災(地震) 保険・共済</b></p> <p>火災保険だけでは地震・津波の 被害保障なし</p>	<p>31.8万円</p> <p><b>応急修理 制度</b></p> <p>仮設住宅</p> <p>半壊以上 655,000円 準半壊 318,000円</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法 の適用が必要（同等の 制度がある自治体も） *対象：全壊世帯・大規 模半壊世帯・半壊以上 等でやむを得ず解体す る世帯・長期避難世帯</p>	<p>万円</p> <p><b>自治体の 独自支援</b></p> <p>自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集</p>	<p>①</p> <p>万円</p> <p><b>ライフスタイル カード1枚目</b></p>
<p><b>カードで 得られる金額</b></p> <p>次の生活場所</p> <p>記入する。以下の場合は カードを貼る</p> <p>応急仮設住宅 災害救助法の適用が必要。 半壊以上も可能性</p>	<p>万円</p> <p><b>義援金</b></p> <p>家族の死亡や住家 被害の程度により 支給される</p>	<p>250/500万円</p> <p><b>災 害 慰 金</b></p> <p>家族の死亡時に遺 族に 500万円 又 は 250万円 支給</p>	<p>150万円</p> <p><b>災害援護 資金貸付</b></p> <p>ただし 床上浸水で 家財の3分 の1の損害 ある場合</p>	<p>万円</p> <p><b>雑損控除 (災害減免法)</b></p> <p>建物・家財・車・墓 地などの被害や災 害による支出で税 金が減免される</p>	<p>万円</p> <p>自由なアイデア カード</p>	<p>②</p> <p>万円</p> <p><b>ライフスタイル カード2枚目</b></p>
<p><b>カードで 得られる金額</b></p> <p>最終的な住まい <b>自宅を修理</b></p>	<p>万円</p> <p>公費解体</p> <p>*原則全壊家屋が対象。 特定非常災害等なら半 壊以上の家屋や一部事 業所も対象になること もあるため最新の情報 をチェック</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法 の適用が必要（同等の 制度がある自治体も） *対象：「基礎支援金」 の受給世帯又は中規模 半壊の世帯</p>	<p>~1200万円</p> <p><b>災 害 復 興 住 宅 融 資</b> (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は 半壊、補修は一部 損壊以上が条件</p>	<p>~1200万円</p> <p><b>リバース モーゲージ</b></p> <p>60歳以上なら、不 動産を担保に、利 息のみの返済可能</p>	<p>万円</p> <p><b>被災ローン 減免制度</b></p> <p>住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除</p>	<p>③</p> <p>万円</p> <p>④</p> <p><b>現在の貯蓄額</b> 万円</p> <p>①~④の合計額を記入 <b>最終合計</b> 万円</p>

# 準半壊世帯の 借借人の方



## 被災者生活再建カード の基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります  
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入する場合は 避難所 開設も入 数日から数ヶ月 の利用（無料）</p>	万円	万円	万円	万円	万円	① 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入する。以下の場合は カードを貼る 応急仮設住宅 災害救助法の適用が必要。 半壊以上も可能性</p>	万円	250/500万円	150万円	万円	万円	② 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>記入するか、住まいカード 又は以下のカードを貼る 災害公営住宅 自治体が設置するかどうか や入居要件に注意</p>	万円	万円	万円	万円	万円	③ 万円
						④ 現在の貯蓄額 万円
						①～④の合計額を記入 最終合計 万円

**ボランティア  
専門家支援**

片付け・土砂撤去  
など様々な困り  
ごとの相談

**火災(地震)  
保険・共済**

火災保険だけで  
は地震・津波の  
被害保障なし

**応急修理制度**

- \* 災害救助法の適用が必要
- \* 対象：準半壊以上
- \* 使うと修理後は「応急仮設住宅」に入れず、「公費解体」も使えなくなる

**被災者生活再建支援金  
基礎支援金**

- \* 被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体も）
- \* 対象：全壊世帯・大規模半壊世帯・半壊以上等でやむを得ず解体する世帯・長期避難世帯

**自治体の  
独自支援**

自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集

**ライフスタイル  
カード1枚目**

**義援金**

家族の死亡や住家被害の程度により支給される

**災害弔慰金**

家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給

**災害援護  
資金貸付**

ただし  
床上浸水で  
家財の3分の1の損害  
ある場合

**雑損控除  
(災害減免法)**

建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される

**自由なアイデア  
カード**

**ライフスタイル  
カード2枚目**

**公費解体**

- \* 原則全壊家屋が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も対象になることもあるため最新の情報をチェック

**被災者生活再建支援金  
加算支援金**

- \* 被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体も）
- \* 対象：「基礎支援金」の受給世帯又は中規模半壊の世帯

**災害復興  
住宅融資**

- \* 親子リレーローンで二世帯での可能も可
- \* 建設・購入（新築・中古）は半壊以上、補修は一部損壊も可

**リバース  
モーゲージ  
(災害復興住宅融資  
の高齢者返済特例)**

- \* 60歳以上
- \* 建設・購入（新築・中古）は半壊以上、補修は一部損壊も可
- \* 不動産評価の6割まで借入可

**被災ローン  
減免制度**

住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除

**現在の貯蓄額  
万円**

**半壊**世帯で  
解体する **修理する**



被災者生活再建カード  
の基本的な使い方

- 1) まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 2) 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 3) 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります  
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 4) 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 5) 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 6) 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入するカードは 避難所は 開設から数ヶ月 の利用（無料）で も入居可能</p>	<p>万円</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>	<p>万円</p> <p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波 被害保険はし</p>	<p>65.5万円</p> <p>応急修理 制度</p> <p>仮設住宅</p> <p>半壊以上 655,000円 準半壊 318,000円</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援法 基礎支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法の 適用が必要（同等の 制度がある自治体も） *対象：全壊世帯・大規模 半壊世帯・半壊以上 等でやむを得ず解体す る世帯・長期避難世帯</p>	<p>万円</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集</p>	<p>①</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード1枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入するカードは 仮設住宅は 災害 半壊</p>	<p>万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家 被害の程度により 支給される</p>	<p>250/500万円</p> <p>災 害 弔 慰 金</p> <p>家族の死亡時に遺 族に 500万円 又 は 250万円 支給</p>	<p>170~万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に応じ最大 350万円 貸付</p>	<p>万円</p> <p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓 地などの被害や災 害による支出で税 金が減免される</p>	<p>万円</p> <p>自由なアイデア カード</p>	<p>②</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード2枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい 自宅を修理</p>	<p>万円</p> <p>公費解体</p> <p>*原則全壊家屋が対象。 特定非常災害等なら半 壊以上の家屋や一部事 業所も対象になること もあるため最新の情報 をチェック</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援法 加算支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法 の適用が必要（同等の 制度がある自治体も） *対象：「基礎支援金」 の受給世帯又は中規模 半壊の世帯</p>	<p>~1200万円</p> <p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は 半壊、補修は一部 損壊以上が条件</p>	<p>~1200万円</p> <p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不 動産を担保に、利 息のみの返済可能</p>	<p>万円</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除</p>	<p>③</p> <p>万円</p> <p>現在の貯蓄額 万円</p> <p>④</p> <p>①~④の合計額を記入 最終合計 万円</p>

原則どちらか

どちらか

# 半壊世帯の 借入の方

(建物が解体されない時)



## 被災者生活再建カード の基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります  
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入する場合は 避難所 （数日から数ヶ月 の利用（無料））</p>	万円	万円	万円	万円	万円	① 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入する場合は 仮設住宅 （原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性 あり）</p>	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	② 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>記入するか、住まいカード 又は以下のカードを貼る 災害公営住宅 自治体が設置するかどうか や入居要件に注意</p>	万円	万円	~3700万円	評価額の6割	万円	③ 万円
						④ 現在の貯蓄額 万円 ①~④の合計額を記入 最終合計 万円

**ボランティア  
専門家支援**

片付け・土砂撤去  
など様々な困り  
ごとの相談

**火災(地震)  
保険・共済**

火災保険だけで  
は地震・津波の  
被害保障なし

**応急修理制度**

- \* 災害救助法の適用が必要
- \* 対象：準半壊以上
- \* 使うと修理後は「応急仮設住宅」に入らず、「公費解体」も使えなくなる

**被災者生活再建支援金  
基礎支援金**

- \* 被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体も）
- \* 対象：全壊世帯・大規模半壊世帯・半壊以上等でやむを得ず解体する世帯・長期避難世帯

**自治体の  
独自支援**

自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集

**ライフスタイル  
カード1枚目**

**義援金**

家族の死亡や住家被害の程度により支給される

**災害弔慰金**

家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給

**災害援護  
資金貸付**

1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付

**雑損控除  
(災害減免法)**

建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される

**自由なアイデア  
カード**

**ライフスタイル  
カード2枚目**

**公費解体**

- \* 原則全壊家屋が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も対象になることもあるため最新の情報をチェック

**被災者生活再建支援金  
加算支援金**

- \* 被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体も）
- \* 対象：「基礎支援金」の受給世帯又は中規模半壊の世帯

**災害復興  
住宅融資  
(建設・購入・補修)**

建設・購入資金は半壊、補修は一部損壊以上が条件

**リバース  
モーゲージ**

60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能

**被災ローン  
減免制度**

住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除

← どちらか →

半壊/中規模半壊/大規模半壊 世帯の  
**借入の方**  
 (建物が解体された時)

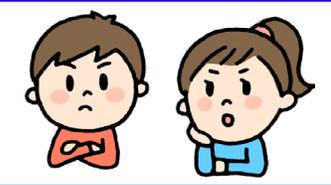


被災者生活再建カード  
 の基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード(借入以外)を貼ります  
 ※ カードの配置例も参考に(配置例はカードを最も使える事例を想定しています)
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p><b>カードで 得られる金額</b></p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入するカードは 避難所</p> <p>開設も入居も 数日から数ヶ月の利用(無料)</p>	万円	万円	万円	100万円 単身は3/4	万円	① 万円
<p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	② 万円
<p><b>カードで 得られる金額</b></p> <p>最終的な住まい</p> <p>記入するか、住まいカード又は以下のカードを貼る 災害公営住宅 自治体が設置するかどうかや入居要件に注意</p>	万円	50~200万円 単身は3/4	~3700万円	評価額の6割	万円	③ 万円
<p>公費解体</p> <p>*原則全壊家屋が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も対象になることもあるため最新の情報をチェック</p>	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	④ 現在の貯蓄額 万円
<p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上の各半額</p>	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	①~④の合計額を記入 最終合計 万円
<p>災害復興住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は半壊、補修は一部損壊以上が条件</p>	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	①~④の合計額を記入 最終合計 万円
<p>リバースモーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能</p>	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	①~④の合計額を記入 最終合計 万円
<p>被災ローン減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	①~④の合計額を記入 最終合計 万円

半壊/中規模半壊/大規模半壊  
世帯で  
解体する・修理する



被災者生活再建カードの基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります  
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入するカードは 避難所 開設も入</p>	万円	万円	万円	100万円 単身は3/4	万円	① 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入するカードは 仮設住宅 災害 半壊以上</p>	万円	250/500万円	250~万円	万円	万円	② 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>記入するカードは 災害公営住宅 自治体 や入</p>	万円	50~200万円 単身は3/4	~3700万円	評価額の6割	万円	③ 万円
						④ 現在の貯蓄額 万円 ①~④の合計額を記入 最終合計 万円

**ボランティア  
専門家支援**

片付け・土砂撤去  
など様々な困り  
ごとの相談

**火災(地震)  
保険・共済**

火災保険だけでは地震・津波の  
被害保障なし

**応急修理制度**

\*災害救助法の適用が  
必要  
\*対象：準半壊以上  
\*使うと修理後は「応急  
仮設住宅」に入らず、  
「公費解体」も使えな  
くなる

**被災者生活再建支援金  
基礎支援金**

全壊・解体・長期避難  
100万円  
大規模半壊  
50万円

**自治体の  
独自支援**

自治体により支援  
の有無・内容が異  
なるので情報収集

**ライフスタイル  
カード1枚目**

**義援金**

家族の死亡や住家  
被害の程度により  
支給される

**災害弔慰金**

家族の死亡時に遺  
族に500万円 又  
は250万円 支給

**災害援護  
資金貸付**

1か月以上の負傷  
家財損害、住家被  
害に応じ最大  
350万円 貸付

**雑損控除  
(災害減免法)**

建物・家財・車・墓  
地などの被害や災  
害による支出で税  
金が減免される

**自由なアイデア  
カード**

**ライフスタイル  
カード2枚目**

**公費解体**

原則全壊建物が対象。  
特定非常災害等なら  
半壊以上の家屋や  
一部事業所も無料で  
解体・撤去

**被災者生活再建支援金  
加算支援金**

建設・購入 200万  
修理 100万  
民間貸借 50万  
\*中規模半壊は上  
の各半額

**災害復興  
住宅融資  
(建設・購入・補修)**

建設・購入資金は  
半壊、補修は一部  
損壊以上が条件

**リバース  
モーゲージ**

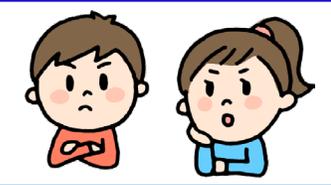
60歳以上なら、不  
動産を担保に、利  
息のみの返済可能

**被災ローン  
減免制度**

住宅、事業、教育  
などの個人ローン  
の減額・免除

どちらか

中規模半壊世帯で  
解体する・修理する



被災者生活再建カード  
の基本的な使い方

- 1) まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 2) 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 3) 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります  
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 4) 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 5) 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 6) 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入する欄は カード 開設 も入</p> <p>避難所 数日から数ヶ月 の利用（無料）</p>	<p>万円</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>	<p>万円</p> <p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけで は地震・津波 被害保険なし</p>	<p>65.5万円</p> <p>応急修理 制度</p> <p>仮設住宅</p> <p>半壊以上 655,000円 準半壊 318,000円</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法 の適用が必要（同等の 制度がある自治体も） *対象：全壊世帯・大規 模半壊世帯・半壊以上 等でやむを得ず解体す る世帯・長期避難世帯</p>	<p>万円</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>地方自治体</p> <p>自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集</p>	<p>①</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード1枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入する カード は</p> <p>仮設住宅</p> <p>災害 半壊</p> <p>原則 2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性 要。</p>	<p>万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家 被害の程度により 支給される</p>	<p>250/500万円</p> <p>災 害 弔 慰 金</p> <p>家族の死亡時に遺 族に 500万円 又 は 250万円 支給</p>	<p>250~万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に応じ最大 350万円 貸付</p>	<p>万円</p> <p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>税務署</p> <p>建物・家財・車・墓 地などの被害や災 害による支出で税 金が減免される</p>	<p>万円</p> <p>自由なアイデア カード</p>	<p>②</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード2枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい 自宅を修理</p>	<p>万円</p> <p>公費解体</p> <p>*原則全壊家屋が対象。 特定非常災害等なら半 壊以上の家屋や一部事 業所も対象になること もあるため最新の情報 をチェック</p>	<p>50万円 単身は3/4</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上 の各半額</p>	<p>~1200万円</p> <p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は 半壊、補修は一部 損壊以上が条件</p>	<p>~1200万円</p> <p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不 動産を担保に、利 息のみの返済可能</p>	<p>万円</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>免状</p> <p>住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除</p>	<p>③</p> <p>万円</p> <p>現在の貯蓄額 万円</p> <p>④</p> <p>①~④の合計額を記入 最終合計 万円</p>

原則どちらか

どちらか

中規模半壊 世帯の  
**借入の方**  
 (建物が解体されない時)



被災者生活再建カード  
 の基本的な使い方

- 1) まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 2) 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 3) 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード(借入以外)を貼ります  
 ※ カードの配置例も参考に(配置例はカードを最も使える事例を想定しています)
- 4) 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 5) 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 6) 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入するカードは 避難所 開設から数ヶ月の 利用(無料)</p>	万円	万円	万円	万円	万円	① 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入するカードは 仮設住宅 災害半壊 原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性 必要。</p>	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	② 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>記入するか、住まいカード 又は以下のカードを貼る 災害公営住宅 自治体が設置するかどうか や入居要件に注意</p>	万円	25~100万円 単身は3/4	~3700万円	評価額の6割	万円	③ 万円
						④ 現在の貯蓄額 万円 ①~④の合計額を記入 最終合計 万円

**ボランティア  
専門家支援**

片付け・土砂撤去  
など様々な困り  
ごとの相談

**火災(地震)  
保険・共済**

火災保険だけでは地震・津波の  
被害保障なし

**応急修理制度**

- \* 災害救助法の適用が必要
- \* 対象：準半壊以上
- \* 使うと修理後は「応急仮設住宅」に入らず、「公費解体」も使えなくなる

**被災者生活再建支援金  
基礎支援金**

- \* 被災者生活再建支援法の適用が必要(同等の制度がある自治体も)
- \* 対象：全壊世帯・大規模半壊世帯・半壊以上等でやむを得ず解体する世帯・長期避難世帯

**自治体の  
独自支援**

自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集

**ライフスタイル  
カード1枚目**

**義援金**

家族の死亡や住家被害の程度により支給される

**災害弔慰金**

家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給

**災害援護  
資金貸付**

1か月以上の負傷  
家財損害、住家被害  
に応じ最大350万円貸付

**雑損控除  
(災害減免法)**

建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される

**自由なアイデア  
カード**

**ライフスタイル  
カード2枚目**

**公費解体**

\* 原則全壊家屋が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も対象になることもあるため最新の情報をチェック

**被災者生活再建支援金  
加算支援金**

建設・購入 200万  
修理 100万  
民間貸借 50万  
\* 中規模半壊は上の各半額

**災害復興  
住宅融資  
(建設・購入・補修)**

建設・購入資金は半壊、補修は一部損壊以上が条件

**リバース  
モーゲージ**

60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能

**被災ローン  
減免制度**

住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除

← どちらか →

大規模半壊世帯で  
解体する・修理する



## 被災者生活再建カードの基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります  
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

カードで 得られる金額	万円	万円	65.5万円	50万円 単身は3/4	万円	① 万円
<b>最初の生活場所</b> 記入カードは「避難所」は開設も入居も入居可能（無料） 数日から数ヶ月の利用（無料）	<b>ボランティア 専門家支援</b> 片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談	<b>火災(地震) 保険・共済</b> 火災保険だけでは地震・津波被害保障なし	<b>応急修理 制度</b> 仮設住宅 半壊以上 655,000円 準半壊 318,000円	<b>被災者生活再建支援金 基礎支援金</b> 全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円	<b>自治体の 独自支援</b> 自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集	<b>ライフスタイル カード1枚目</b>
<b>カードで 得られる金額</b>	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	② 万円
<b>次の生活場所</b> 記入カードは「仮設住宅」は災害半壊要。 原則2年以内家賃無料半壊も入居可能性あり	<b>義援金</b> 家族の死亡や住家被害の程度により支給される	<b>災 害 弔 慰 金</b> 家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給	<b>災害援護 資金貸付</b> 1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付	<b>雑損控除 (災害減免法)</b> 建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される	自由なアイデアカード	<b>ライフスタイル カード2枚目</b>
<b>カードで 得られる金額</b>	万円	100万円 単身は3/4	~1200万円	~1200万円	万円	③ 万円
<b>最終的な住まい 自宅を修理</b>	<b>公費解体</b> *原則全壊家屋が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も対象になることもあるため最新の情報をチェック	<b>被災者生活再建支援金 加算支援金</b> 建設・購入 200万円 修理 100万円 民間貸借 50万円 *中規模半壊は上の各半額	<b>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</b> 建設・購入資金は半壊、補修は一部損壊以上が条件	<b>リバース モーゲージ</b> 60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能	<b>被災ローン 減免制度</b> 住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除	<b>現在の貯蓄額</b> 万円 ④ <b>①~④の合計額を記入 最終合計</b> 万円

原則どちらか

どちらか

# 大規模半壊世帯の 借入の方



## 被災者生活再建カード の基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります  
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<b>カードで 得られる金額</b> 最初の生活場所 記入カード 避難所 数日から数ヶ月の利用（無料） 開設も入	万円	万円	万円	50万円 単身は3/4	万円	① 万円
<b>カードで 得られる金額</b> 次の生活場所 記入カード 仮設住宅 原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性 災害半壊 必要。	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	② 万円
<b>カードで 得られる金額</b> 最終的な住まい 記入するか、住まいカード 又は以下のカードを貼る 災害公営住宅 自治体が設置するかどうか や入居要件に注意	万円	50~200万円 単身は3/4	~3700万円	評価額の6割	万円	③ 万円
						④ 現在の貯蓄額 万円 ①~④の合計額を記入 最終合計 万円

**ボランティア  
専門家支援**

片付け・土砂撤去  
など様々な困り  
ごとの相談

**火災(地震)  
保険・共済**

火災保険だけでは地震・津波の  
被害保障なし

**応急修理制度**

- \* 災害救助法の適用が必要
- \* 対象：準半壊以上
- \* 使うと修理後は「応急仮設住宅」に入らず、「公費解体」も使えなくなる

**被災者生活再建支援金  
基礎支援金**

全壊・解体・長期避難  
100万円  
大規模半壊  
50万円

**自治体の  
独自支援**

自治体により支援  
の有無・内容が異  
なるので情報収集

**ライフスタイル  
カード1枚目**

**義援金**

家族の死亡や住家  
被害の程度により  
支給される

**災 害 慰 金**

家族の死亡時に遺  
族に500万円 又  
は250万円 支給

**災害援護  
資金貸付**

1か月以上の負傷  
家財損害、住家被  
害に応じ最大  
350万円 貸付

**雑損控除  
(災害減免法)**

建物・家財・車・墓  
地などの被害や災  
害による支出で税  
金が減免される

自由なアイデア  
カード

**ライフスタイル  
カード2枚目**

**公費解体**

\* 原則全壊家屋が対象。  
特定非常災害等なら半  
壊以上の家屋や一部事  
業所も対象になること  
もあるため最新の情報  
をチェック

**被災者生活再建支援金  
加算支援金**

建設・購入 200万  
修理 100万  
民間貸借 50万  
\* 中規模半壊は上  
の各半額

**災 害 復 興  
住 宅 融 資  
(建設・購入・補修)**

建設・購入資金は  
半壊、補修は一部  
損壊以上が条件

**リバース  
モーゲージ**

60歳以上なら、不  
動産を担保に、利  
息のみの返済可能

**被災ローン  
減免制度**

住宅、事業、教育  
などの個人ローン  
の減額・免除



**全壊** 世帯で  
解体する 修理する



**被災者生活再建カードの基本的な使い方**

- 1) まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 2) 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 3) 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります  
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 4) 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 5) 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 6) 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p><b>カードで 得られる金額</b></p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入するカードは 避難所 開設も入</p>	万円	万円	万円	100万円 単身は3/4	万円	① 万円
<p>次の生活場所</p> <p>記入するカードは 仮設住宅 災害半壊 原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性 必要。</p>	万円	万円	250~万円	万円	万円	② 万円
<p><b>最終的な住まい</b></p> <p>記入するカードは 災害公営住宅 自治体 収入に応じて家賃は変動、当初数年は家賃の特典あり</p>	万円	50~200万円 単身は3/4	~3700万円	評価額の6割	万円	③ 万円
						④ 現在の貯蓄額 万円
						①~④の合計額を記入 <b>最終合計</b> 万円

**ボランティア  
専門家支援**

片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談

**火災(地震)  
保険・共済**

火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし

**応急修理制度**

- \* 災害救助法の適用が必要
- \* 対象：準半壊以上
- \* 使うと修理後は「応急仮設住宅」に入らず、「公費解体」も使えなくなる

**被災者生活再建支援金  
基礎支援金**

全壊・解体・長期避難  
100万円  
大規模半壊  
50万円

**自治体の  
独自支援**

自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集

**ライフスタイル  
カード1枚目**

**義援金**

家族の死亡や住家被害の程度により支給される

**災害弔慰金**

家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給

**災害援護  
資金貸付**

1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付

**雑損控除  
(災害減免法)**

建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される

**自由なアイデア  
カード**

**ライフスタイル  
カード2枚目**

**公費解体**

原則全壊建物が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も無料で解体・撤去

**被災者生活再建支援金  
加算支援金**

建設・購入 200万  
修理 100万  
民間貸借 50万  
\* 中規模半壊以上の各半額

**災害復興  
住宅融資  
(建設・購入・補修)**

建設・購入資金は半壊、補修は一部損壊以上が条件

**リバース  
モーゲージ**

60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能

**被災ローン  
減免制度**

住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除

← どちらか →

# 全壊世帯の 賃借人の方



## 被災者生活再建カード の基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります  
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p><b>カードで 得られる金額</b></p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入する場合は カード</p> <p>避難所 開設も入 数日から数ヶ月 の利用（無料）</p>	万円	万円	万円	100万円 単身は3/4	万円	① 万円
<p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家 被害の程度により 支給される</p> <p>災害 半壊</p> <p>仮設住宅 原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性 必要。</p>	万円	万円	250~万円	万円	② 万円	万円
<p><b>最終的な住まい</b></p> <p>記入するか、住まいカード 又は以下のカードを貼る</p> <p>災害公営住宅 自治体が設置するかどうか や入居要件に注意</p>	万円	50~200万円 単身は3/4	~3700万円	評価額の6割	万円	③ 万円
<p>公費解体</p> <p>原則全壊建物が対象。 特定非常災害等なら 半壊以上の家屋や 一部事業所も無料で 解体・撤去</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上 の各半額</p> <p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は 半壊、補修は一部 損壊以上が条件</p> <p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不 動産を担保に、利 息のみの返済可能</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除</p>	④ 現在の貯蓄額 万円	①~④の合計額を記入 最終合計 万円				